

補助金・交付金チェックシート(No.1)

補助金名 (交付金名)	函館市社会福祉協議会補助金	開始 年 度	昭和43年度
----------------	---------------	-----------	--------

団 体 名	社会福祉法人函館市社会福祉協議会
-------	------------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	社会福祉法人の助成に関する条例，社会福祉法人の助成に関する条例施行規則， 函館市社会福祉協議会補助金交付要綱
-------------------------	---

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	市民に密着した地域福祉を推進するとともに，市の福祉行政を補完する役割を担う社会福祉協議会の運営費に対し，補助する。
目 的	(目 的) 社会福祉協議会の運営を支援し，また社会福祉事業の促進を図り，もって本市における地域福祉の向上を図るため。
・ 効 果	(効 果) 財政基盤の乏しい同法人の経営を安定させることによって，種々の福祉サービスの提供が可能となり，市民福祉の向上に寄与している。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	寄附金	経理(会計) 区分間繰入	施設整備・ その他活動	前期末 支払資金 残高	計
		市	その他							
収 入	28	70,776	87,589	503,856	9,311	5,866	38,289	17,939	49,697	783,323
	29	67,206	87,727	522,988	9,173	5,307	39,023	12,458	69,171	813,053
	30	64,060	84,236	528,012	9,105	4,958	39,890	8,442	87,946	826,649
	元	62,710	82,129	514,297	8,825	2,623	32,814	2,321	100,170	805,889
	2	63,022	78,705	523,843	8,713	2,052	35,616	1,363	111,909	825,223
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	雑費	経理(会計) 区分間繰入	施設整備・ その他活動	予備費	計
	28	363,932	171,807	75,312	2,865	47,739	38,289	14,207		714,151
	29	371,881	173,180	81,109	2,834	47,541	39,023	9,539		725,107
	30	367,760	173,432	77,872	2,836	47,396	39,890	17,293		726,479
	元	362,242	168,604	76,163	2,734	46,020	32,814	5,403		693,980
2	354,638	175,461	74,091	2,666	40,056	35,616	16,115		698,643	

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市社会福祉協議会補助金
----------------	---------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	函館市社会福祉協議会は、社会福祉法に基づく組織として、社会福祉を目的とする事業の企画および実施や、社会福祉活動への住民参加のための援助、社会福祉事業の調査、普及宣伝、連絡、調整および助成を行うほか、社会福祉事業の健全な発達を図るために必要な事業を実施する公益法人である。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	函館市社会福祉協議会は、「共に支え合い安心して暮らせるまちづくり」を基本理念に掲げ、市や関係団体と円滑な連携、協働のもと各種の福祉事業を総合的に展開することを目的とし、福祉行政を補完する役割を担うことから、一定程度の補助は必要である。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	寄附金や会費の増を図るとともに、介護保険事業による安定的な収入の確保に取り組んでいる。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ボランティア養成や住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちづくりを推進する地域福祉活動の充実・活性化を主体的に取り組んでいることから、補助金によることが有効である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	本市の地域福祉の推進を図るうえで、地域福祉の中心的な役割を担う社会福祉協議会の運営の円滑な遂行を確保するため補助金を支出しており、平成27年度に補助金・委託料を総合的に見直し、法人運営および各支所の地域福祉活動事業に要する経費に対する補助率を補助対象経費の1/2としたほか、平成30年度まで毎年度1人工相当額を削減したところであるが、必要と認める事業（地域福祉活動事業（本所）および応急生活資金貸付事業）に対しては1/2を超える補助金を支出することとしている。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	町会加入者の減少などにより、会費収入が減少傾向にあるため、介護保険事業等において更なる自主財源の確保を図るよう求めていく。
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金 チェックシート (No.3)

補助金名
(交付金名)

函館市社会福祉協議会補助金

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

社会福祉協議会の事業実施の目的は、地域福祉の推進という漠然としたものであり、具体的な数値等で示すことが難しいため、実施事業の中で数値として表すことのできる、会員数とボランティア団体登録数を指標とする。

(達成状況)

(単位: 人・団体)

区 分	H27	H28	H29	H30	R元	R2
会員数 (一般)	155	148	151	148	147	152
会員数 (賛助・団体・特別)	367	387	397	385	407	380
ボランティア登録数 (個人)	265	235	212	189	179	132
ボランティア登録数 (団体)	176	165	165	160	161	164

※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください。

(評 価)

- 十分効果をあげている
- 一定の効果をあげている
- 効果が疑問である
- その他

(理 由)

少子高齢化や核家族化の進行、地域における人間関係の希薄化などにより様々な生活問題が生じてきている中、共に支え合い安心して暮らせるよう地域社会で福祉課題の解決に取り組む地域福祉を推進しており、一定の効果をあげている。

○今後の方向性

- 現行のまま補助を継続
- 見直したうえで補助を継続
- 廃止
- その他

(見直しの内容)

平成27年度に社会福祉協議会に対する補助金・委託料を総合的に見直し、平成30年度まで毎年度1人工相当額の削減を行ったところであり、今後においても実態にあわせた見直しを段階的に行い、補助率1/2以内の金額での補助を検討していく。

(見直しの時期)

(廃止の理由)

(廃止の時期)

(その他の内容)

○終期の設定

終期設定

令和 5 年度

 終期到来により廃止 終期到来時に再検討

次回チェック年度(予定)

令和 5 年度